

長濱さんからのメッセージ

代表取締役社長
長濱 好教

Next2017 創業50周年に向かって

平素より皆さまにはたくさんのご愛顧を賜り、心より御礼申し上げます。

お蔭さまで、昨年度は大型案件での徹底したプロジェクト推進、また、ウェアラブルデバイス等を駆使した先進的なシステム検討を通して、お客さま・ビジネスパートナーさまとの信頼関係を新たに進化させることが出来ました。さらに、北九州市健康づくり活動での“市長賞”、北九州市環境首都検定においては“企業・団体部門 成績最優秀賞”、そしてJBグループCS活動発表大会では“最優秀賞”を受賞することが出来ました。お客さま・地域の皆さま、そして社員と一緒に取組んできたこれまでの活動を、関係者の皆さまにご評価頂いたことに、改めて御礼申し上げます。これら昨年度の活動を、2017年の創業50周年に向けた「助走」とし、今後もより一層の努力で、活動の浸透と広がりを進めていきたいと思っております。



さて、スタートしました2015年度は、長年培ってきたお客さま・パートナーさまとの信頼関係を土台に、そして甘えることなく、個々の持つ技術とteam力を進化させます。それは、創業の原点である“お客さまと共に、常に新しい仕事/課題解決に熱く挑戦する、真のプロフェッショナル・チーム”たらんとする気持ちで、昇竜のごとき強さと勢いを持って進めます。



その実行に向けての主要な3つの変化をご報告します。

一番目に、提案スピードと質を向上させるため、産業・医療・地理情報の3分野について、営業とエンジニア一体型チームに拡張し、営業統括に一元化しました。

二番目に、業種・業界を越えた新ビジネスを開拓する「ビジネス推進部」と高度な技術適用を支援する「技術支援グループ」を、SI&S事業部に新設することにより、お客さまニーズの高い先進技術を見極め、社内パイロットで効果的な活用チャレンジしながら、Initiative 7のパワーアップを目指します。

三番目に、メンバー保有スキルと業務との最適化を実現する「キャリアリンク機能」を管理部門に編成し、リソースダイナミクスによる生産性・品質の向上を図ります。

皆さまのお仕事の成功に、私たちの挑戦が少しでもお役に立つことを楽しみに、本年度も**とどけ! お客さまに Initiative 7**”を合言葉に元気に活動していきます。



北九州市環境首都検定 最優秀賞受賞！

平成26年度北九州市環境首都検定が、2014年12月14日（日）西日本総合展示場新館で実施され、3年連続で「TEAMソルネット」として、社員と家族を含めた59名で受検しました。

今回は、検定テキストが改訂になり、再生可能エネルギー活用の最新状況や、持続可能な社会に向けての世界の動き、北九州の取組みなどが新たに追加されました。

これを受け、弊社では、過去問題だけでなく新しいトピックスから出題予想を行い、TEAMソルネットオリジナルの“環境クイズ”を作成し、受検対策を行いました。また、北九州市提供の学習アプリ「環境ドリル」のスマホ対応機種が拡大され、通勤時間や休憩時間に手軽に勉強でき、初めて受験する社員や業務で多忙な社員の大きな助けとなりました。

その結果、チーム平均得点（上位10名）が90.1点と前年をさらに上回る好成績を収め、2月22日の表彰式にお招きいただいて、今年も成績最優秀賞を受賞しました。



企業・団体部門（ジュニア・一般・上級混合）成績最優秀賞

頂いた賞状に加え、環境配慮型素材FOLMICSを使って博多人形師の方が造形した「ていたんくん」トロフィーもいただき、会社のロビーに飾って、社員と受賞の喜びを分かちあっています。

今回の授賞式では、100点満点が12名、成績優秀賞が10校にも上るなど、特に小学生が大活躍しており、環境学習の成果を感じると同時に、この子たちにとって自分たちの住む地球を守るため、環境に配慮することは、もはや息をするように自然で当たり前のことになりつつ



「ていたんくん」トロフィーがキュートです！

あるのだと、とても感慨深い思いでした。

私たちも環境未来都市北九州に関する知識と理解をさらに深め、「誰もが暮らしたい街、誰もが活力ある街」づくりを、ITで強力にご支援していけるように頑張ります。



はる・ハル・春！

春らんまん。お陰さまをもちまして、今年度もフレッシュな新入社員を迎えることができました。アクティブで個性豊かな4人です。

入社式を終えると、4人は大きな荷物を手に東京へと向かいました。J Bグループ全体での入社式の後、現在は3か月間の合宿研修で、ビジネスマナー教育や職種別研修を受けています。知識と自信を深め、一段と成長した姿で北九州に戻って来てくれることでしょう。それでは、これから一緒に働く仲間を紹介します。



Q1.出身校(学部) Q2.趣味や特技
Q3.学生時代に頑張っていたこと
Q4.ソルネット社員としての目標
Q5.私ってこんな人です！

高津 将光 (たかつ まさみつ)

- A1.山口大学 (理学部)
- A2.車・ドライブ 冬はスノーボードに行きます
- A3.ひたすらバイトをしていました。接客を通して人と話し、つながりができました
- A4.仕事1つ1つに一生懸命に取り組み、周囲の人に頼って貰える存在になりたいです
- A5.周囲からは”大人しい”と思われることが多いですが、感情的な一面もあります。そして、前向きです



山田 将平 (やまだ しょうへい)

- A1.北九州市立大学 (国際環境工学部)
- A2.三点倒立が得意です。趣味はドライブで山や海にでかけるのが好きです
- A3.塾講師のアルバイトで、小学生から高校生を指導し、勉強に興味を持って貰えるよう努力しました
- A4.どんな事にも挑戦し、成長に貪欲な社員になりたいです
- A5.人前に立つと、緊張するので、様々な経験を通して、克服したいと思っています



古野 太一 (ふるの たいち)

- A1.北九州工業高等専門学校 (制御情報工学科)
- A2.少林寺拳法 (二段所有) カードゲームやボードゲームなどのアナログゲームをよくやります
- A3.体育祭での応援団を頑張りました 『KCT体育祭 制情応援団』で検索して下さい ※動画公開中です
- A4.やりたいと思ったことに全力で挑戦できる人になりたいです
- A5.友人との間では、”ツッコミ役”でした “世話焼き役”になることも多かったです



永山 正 (ながやま ただし)

- A1.福岡大学 (工学部)
- A2.テニスとランニングでも一番の趣味は、K-POPの“KARA”を追いかけること?
- A3.福岡の某百貨店で、イベント会場づくりのアルバイトを頑張りました
- A4.「永山に任せれば大丈夫!」と、頼られる人になりたいです
- A5.ポジティブな性格です。いつでも明るく、前向きに物事を考えています



ストレッチ体操で、健康づくり

◆第2回北九州市健康づくり活動表彰

「さあみなさん、ストレッチ体操の時間です。」

弊社では毎日14:55になると音楽と共にアナウンスが流れます。仕事から座ってばかりですが、簡単なストレッチをすることで、良い気分転換になり、頭がスッキリします。



この度、北九州市が募集する「第2回北九州市健康づくり活動表彰」ストレッチ体操の様子にノミネーションされ、毎日のストレッチ体操や、社員の健康管理への取組みを評価して頂き、企業部門で“市長賞”を受賞いたしました。北九州市より“市長賞”を受賞したのは、2007年の“北九州市子育てしやすい環境づくりを進める企業・団体等表彰”に続いての2度目で、また、年初のうれしいニュースに社員も大変喜んでいました。

1月28日 ウェル戸畑・大ホールにて行われた表彰式では、社長の長濱と衛藤(人事総務)より、弊社の取組みをご報告させて頂きました。その際、ストレッチ体操を会場で実演させて頂いたのですが、会場に来ていた皆さまにも実際に体験して頂くことができました。また、当日は、ジャズシンガー 綾戸 知恵さんによる講演もあったため、会場の800席は、ほぼ満員という盛況ぶりです。このような大勢の皆さまに、弊社の取組みを直接ご紹介できたことは、大変光栄です。

この受賞に恥じないよう“働きやすい会社No1”を目指し、社員会と一体となって社員の健康づくりに引き続き取り組んでまいります。



頂いた賞状と楯です
社員一同大変喜んでます

◆北九州マラソン 2015

2月8日(日) 2回目の開催となる“北九州マラソン 2015”が開催され、今年も6名の社員がフルマラソンに挑戦しました。今回は、昨年見事完走した畠山(営業)を中心に、約20名の有志にて応援隊を結成し、中央町の沿道から大きな声援を送りました。

当日は雪も舞うほどの寒さで、ランナーには過酷な状況でしたが、応援の甲斐もあってか参加した6名全員が無事完走することができ、応援した我々も大変嬉しく思いました。



弊社ランナーだけでなく、応援した全てのランナーが、苦しいながらも颯爽と私たちの前を走り去る様子に、まるで自分も一緒に走っているような錯覚を抱き、寒い中でも何か温かいものをいただいた感じの一日でした。

(事業管理)

活動の原点は、お客さまの笑顔

弊社では、CS（お客さま満足）向上を目的とした改善活動に、継続的に取り組んでいます。今年度も6チームがエントリーし、1年間の活動内容や成果を発表いたしました。

この取り組みは、「お客さまに喜んで頂くには?」という問いに、チームでアイデアを出し合い、また、必要に応じてお客さまのご意見も頂きながら仮説をたて、PDCAサイクルに基いて、日々の活動に取り組み、実践するものです。



発表者、チームリーダー、審査員の皆さん

そんな中、接戦を制して最優秀賞を獲得したのは、SI推進部 文教ソリューショングループの「Team Campus」でした。

ヘルプデスクに届く障害内容を分析し、その緊急度と対応時期を見極めて、数ステップに分類、お客さまと相談しながら、順次対策を実施することにより障害発生数を大幅に削減することができました。

その他のチームも、お客さまの声に耳を傾け、日々の活動における課題をシンプルに改善し、当たり前を確実に目づ、レベルアップさせていく有意義なものとなりました。また、今年は“団旗”まで作ってしまうチームもあり、CS活動に対するメンバーの熱い想いを感じることもできました。

■ 最優秀賞：Team Campus 発表者コメント



原 功治 (文教ソリューショングループ)

社内大会、そしてJBグループ大会で最優秀賞という素晴らしい評価を頂きました。今年のCS活動ポイントはお客さまと一緒に課題解決に向けて取り組めたことだと思っています。そして「この取り組みをすることで、お客さまの笑顔が見られるかなあ」という素直な気持ちが、僕たちの活動の原点となりました。

今後も改善活動を継続していき、お客さまにより大きな満足をご提供できるよう頑張ってまいります。

※同チームは、グループ各社が集まるCS活動発表会でも最優秀賞を受賞しました

2014年度 ソルネットCS活動発表会

No.	テーマ	チーム名	事業部門	発表者
1	お客様課題・活動内容のリアルタイム共有	☆SOLs	SOL開発部	扇形 貴晃 さん
2	提案活動の活性化 ～ オンサイトとの連携で「とどけ！お客さまに」～	G-Intelligence	地理情報 SOL部	安藤 幸一 さん
3	「2つ目のゼロ」への挑戦！ ～ 「整理とルール」の改善によるプラス1サービス～	ドーナツ de JOB	営業統括	高橋 美恵 さん
4	情報管理徹底によるSOLNET-VALUEアップへの貢献	SALSOK	情報システム	佐藤 中 さん
5	運用保守サービスレベルの向上 ～ 届けよう 今よりもっと「ソルネットバリュー」～	eじゃないのぉ～	フロントエンジ SOL部	中山 浩司 さん
6	プロジェクター教室のシステム環境改善 ～ 授業中閉ゼロへの挑戦～	Team Campus	公共/公益 SOL部	原 功治 さん

各部門のCS活動テーマ

発表会では、各チームの推進メンバーだけでなく、発表を聞いた社員ひとり一人も各部門の課題や取り組みを共有化でき、自部門の改善活動への活力や刺激となっているようです。

今後も形式や成果にとらわれず、活動の範囲を広げてゆき、お客さまの期待値を超える活動を目指して、前向きに頑張っていきたいと思っております。

あいさつは心の扉を開く鍵

「おはようございます。気をつけて行ってらっしゃい。」
PTAの当番で通学路に立つ朝は、通りかかる小学生たちとあいさつを交わします。大きな声の1年生、照れくさそうな6年生と、ひとり一人の顔を見ながら、子どもたちが今日一日、元気に楽しく過ごせるようにと、心を込めて声を掛けるようにしています。



あいさつは、コミュニケーションのはじめの一歩です。弊社でも、毎日朝礼で、5つのあいさつを唱和しています。1年前、営業と開発・基盤のエンジニアが、ワンフロアに席を置くようになってからは、朝礼の人数も80名と大所帯になったため、全員で唱和するとかなりの大音量で、ソルネットのエンジンが朝から勢よく回り始めるように、執務室に響き渡ります。



朝礼の中では、ひとり一人が「感謝・感動・感激のエピソード」を発表します。ほんの数分、全員が発表者の言葉に耳を傾けているだけで、私たちは今まで以上にお互いをよく知り、親しみを感じるようになりました。

今では、「明日発表だよ」と声を掛けあうことはもちろん、「以前、朝礼で聞いた消臭パウダー、うちも使ってほんとによかったです！」と、感謝が感謝を呼び、コミュニケーションの広がりを実感しています。

案件ごとにプロジェクトを立ち上げ、その都度さまざまなメンバーで自由にアイデアを出し合い、お客さまへのよりよい提案を創り上げていく私たちにとって、メンバー間の相互理解とコミュニケーションはもっとも重要な要素です。これからも、お互いを知って尊重し合う関係づくりを大事にしていきたいと思えます。

(Y.Nishino)

編集後記

北九州市の環境への取組みを理解し応援しよう！という気持ちで、弊社の北九州環境首都検定受験のキッカケでした。勉強を進めるうちに、レンズ風車やシティバイクなどが目にとまったり、「これは必要？」と、今までの買い物の基準に変化が出てくるようになったのです。検定は、少しの気遣いでエコを意識した生活が出来ることを、私に気づかせてくれたように思います。(K.K)

